

泌尿器科紀要

第 11 卷 第 2 号

昭和 40 年 2 月

随想 腎不全, 昨日・今日・明日.....	前川 正信... 77
癌予防に対する包皮環状切除術の意義.....	A. ラヴィツチ... 79
前立腺癌の超音波診断法.....	後藤 薫・西 守哉... 87
尿管腫瘍の統計的観察.....	加藤 篤三・石部 知行・田辺 泰民・福重 満・竹中 生昌・溝口 勝・田中 広見... 91
膀胱腫瘍の上部尿路に及ぼす影響について	
第1篇 病理解剖学的考察.....	酒徳治三郎・北山 太一・中川 隆・吉田 修・広川 栄助・松尾 光雄・小松 洋輔・高山 秀則・宮川美栄子... 99
男子不妊症の統計的観察(付 妊娠に対する予後調査結果).....	酒徳治三郎・蛭多 量令・北山 太一・吉田 修...109
Congenital Unilateral Multicystic Kidney の1例.....	川倉 宏一・西田 亨...115
矮小腎を伴う尿管異常開口の1例.....	大野 文夫・梶尾 克彦...121
腎臓に発生した神経芽細胞腫の1例.....	高羽 津・三瀬 徹・桜井 昴...124
女性化乳房を伴った小児の辜丸間質細胞腫の1症例.....	時実 昌泰・竹内 正文・水谷修太郎・紺屋 博暉...129
副辜丸 Adenomatoid Tumor の1例.....	酒徳治三郎・蛭多 量令・北山 太一・吉田 修・広川 栄助・宮川美栄子...141
不妊を主訴とした Dystrophia Myotonica の1症例—Klinefelter 症候群との比較.....	吉田 修・本郷 美弥・吉田 修・福山 拓夫・清水 幸夫...147
泌尿器科領域における Epsilamine の使用経験.....	稲田 務・加藤 弘彰・加藤 哲郎...152
レプチラーゼの使用経験.....	久保 隆・渡辺 決...156
編集後記・購読要項・投稿内規.....	156

Role of Circumcision in Cancer Prevention.....	A. Ravich... 79
Ultrasonic Diagnosis of Prostatic Cancer.....	K. Gotoh and M. Nishi... 87
Statistical Observations on Tumor of the Ureters.....	T. Kato, T. Ishibe, Y. Tanabe, M. Fukushige, I. Takenaka, M. Mizoguchi and H. Tanaka... 91
Influences of Bladder Tumors to the Upper Urinary Tracts.	
Part I Pathological Observations on Necropsied Cases.	
J. Sakatoku, T. Kitayama, T. Nakagawa, O. Yoshida, E. Hirokawa, M. Matsuo, H. Komatsu, H. Takayama and and Miyakawa... 99	
Statistical Observarvation of Male Infertility Clinic Patients with Follow-up Study as to Conception	J. Sakatoku, K. Ebisuta, T. Kitayama and O. Yoshida...109
Congenital Unilateral Multicystic Kidney : Report of A Case.....	K. Kawakura and T. Nishida...115
A Case of Ectopic Ureteral Opening with Dwarf Kidney.....	F. Ohno and K. Kajio...121
Neuroblastoma of the Kidney : Report of a Case.....	M. Takaha, T. Misse and T. Sakurai...124
Interstitial-Cell Tumor of the Testis Associated with Gynecomastia in a Child : Report of a Case	M. Tokizane, M. Takeuchi, S. Mizutani and H. Konya...129
A Case of Adenomatoid Tumor of the Epididymis.....	K. Hamada...136
A Case of Dystrophia Myotonica with Chief Complaint of Sterility : A Comparison of Klinefelter's Syndrome.....	J. Sakatoku, K. Ebisuta, T. Kitayama, O. Yoshida, E. Hirokawa and M. Miyakawa...141
Use of "Epsilamine" as Hemostatics at Urological Clinic.....	T. Inada, H. Hongo, O. Yoshida, T. Fukuyama and Y. Shimizu...147
Clinical Use of "Reptilase".....	T. Kubo, H. Watanabe, H. Kato and T. Kato...152

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

編集後記

医療費問題がモメテイル。初診料ヤ入院料ヲミタダケデモ医療費ノ低サガ判カルガコノタメニ診療側ハ長イ間困ツテイル。ソノ困リ方が最モ明ラカニ判カルノハ公的医療機関デアロウ。税金ヲ払ワズ医療従事者ノ俸給モ高クナイノニ黒字経営ハ望ミガタイ開業医ノ場合ハヨク判ラヌガ看護婦モ充分ニハ置カズ家族グルミデ時間ニ構ワズニ働イテモ報酬ハ昔ニ比ベテ問題ニナラス低サデアアル。医療費ヲ上ゲルニハソノ前提トシテ実態調査ヲ行オウトノ考エガアルガソレニハ殺生ナ点モアル。一般ニ値上ゲラシヨウト云ウ時ニドノ職業デモ実態調査ガ行ワレテイルワケデハナイ。然シ全クコレヲ拒ムノモドウカ。何トカ妥協ノ出来ル方法ハナイモノカ。イズレニシテモ支払側ハナルベク低イ医療費ニ抑エヨウトスルデアロウソレハケンカラス事ダ。妥当ナトコロマデ上ゲル事が必要デアアル。ソコデ上ゲルニシテモナルベク個人負担ニナラスヨウニ出来ルダケ国庫負担ニセヨト云ウソレモ或ル程度ハヨイデアロウ。然シ国費ト云ツテモ国民ノ税金デアアル。国費デサエアレバヨイト云ウワケニハユカヌ。ソレニ就テモ広く公正ニ考エル事が必要デアアル。コノ辺リデ現在ノ医療費制度ヲ根本的ニ考エナオスノガ最モヨイト思ウガ今ノ世ノ中デハソレハ望ミガタイデアロウ。ソシテイツマデモゴタゴタヤツテユクノデアロウ。

医療費問題ニ就テ大学病院ガ全ク沈黙シテイルノハドウイウワケカ。国立ダカラ経営ハドウナツテモ痛痒ヲ感シナイト云ウノカ。大学ガ金銭ノ事ヲ云ウノハ沽券ニ関ワルト云ウノカ。金ノ事ハ医師会ニ任セテ置イテ値上ゲニナレバ大学病院デモ値上ゲニナルカラ黙ツテイルヨウト云ウノカ。値上ゲニナツテモ直チニ施設ガ大幅ニ改善サレタリ職員ノ待遇ガ上ツタリシナイカモ知レヌガソシテ別ニ医療費ガ妥当ナモノデアルベキ事ヲ主張スルダケノ義務ハアロウ。自分デハ要求セズニ人ニ委セテ置キ値上ゲニナツタ時ニハソレニ便乗スルトイウズルサガ内心ニナイカ。

本年カラ改正ニナツタ診療報酬点数表ニ於テ次ノモノ等ハ低イヨウニ思フ(泌尿器科関係)
腎機能ノ色素濃縮稀釈試験140円 膀胱穿刺240円 膀胱洗滌240円 尿道ブジー法120円 尿道側管治療60~240円 尿道周囲膿瘍切開術240円 その他(昭和40年2月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名:誌名、巻数:頁数、年次。
例。中野:泌尿紀要、1:110、昭30。Lazarus, J. A.: J. Urol., 45:527, 1941。
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料は4頁迄毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。